opusdei.org

黙想:年間第26主日 (C年)

黙想のテーマ:「他者が必要 としていることを感知する」 「神の慈しみに頼る」「苦し みに対する感受性」

2025/09/27

他者が必要としていることを感知す る

神の慈しみに頼る

苦しみに対する感受性

この話の金持ちの盲目には驚かされます。門前に横たわるラザロを接続を招き入れる時には、招待を招き入れるため、冷たく追いといるといることは全もあったでしょうことは全もあったのです。彼は無関心では、何のがし得ない人には無関心では、神のでたらし得ない起こずようにと言う招きでとない起こすようにと言う招きで

イエスは、周りの人たちが必要としていることに気づく感受性を、られていることに気づに招いておられておりに招いておられています。と共に生きるのを控え、逆に対してもので重荷を担うことができます。それゆえ、聖さいなっては記したのです。「貧しいの友が言っていた。『貧しい

人々こそ、私にとって最良の霊的読書であり、祈りの主たる動機です。 彼等を見ると心が痛みます。その 人々と共におられるキリストを思っ て辛くなります。そして、心の痛み を感じることから、私が主とその 人々を愛していることが分かりま す』」[2]。

金持ちとラザロのたとえの重要な意味は、主が二人の死後のこときを話すときでしたの変化のことをきるでは、実になります。生きをでいたのでは、大使たちに運ばれ、大使たちに運ばれ、ではないででは、できないでは、できないでは、できないできないでは、これが、は最後にラザロにもないでは、できないが、は最後にラザロに対してが、は最後にラザロに対して頼みます。「父アブラハム

よ、わたしを憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やさせてください。私はこの炎の中でもだえ苦しんでいます」(ルカ16・24)。好き勝手な生活を送っていた彼は、死後も、他者は自分の必要を満たすための存在にすぎないと思い続けているのです。

金持ちの隣人に対する冷たい態度 は、永遠のいのちを決定づけます。 隣人の貧しさを憐れむ心など全くあ りません。ですから、天国に直結し ている唯一の道である神の憐れみに 心を開くこともできなかったので す。「このたとえ話は明らかに次の ように警告しています。神の私たち に対するあわれみは、わたしたちの 隣人に対するあわれみと結びついて います。それが欠けていたり、わた したちの心の中に無かったりすれ ば、神はわたしたちの心に入ること はできません。もし自分の心の扉を

貧しい人々に向けて押し開かなければ、扉は閉ざされたままです。神への扉も閉ざされたままに、人の露も閉ざされたままに、人のましているととでであれるといるのでそれを思いる場所ででそれを思いる場所であるとはでいます。住んでかるともであるとす。とができます。

属人区長が思い起こさせてくれます。「他者に対するキリスト教的な配慮は、まさにキリストとの一致から、そして、キリストが私たちをお招きになった使命に対する一致から生まれます」「⑤」。祈りにおいてイエスと同じ思いをするようになってくきましょう。単純に、聖体をゆっく

りと観想したり、心の奥深くでその 仲間となったりしながら、聖ないるようにながらようにないるようにないます。 の深遠な言葉が分かるは、の恵立にないたいます。 「あなたがたけるのもないます。 知っています。 知っています。 知ったがたがたのもないませんがたので 道しくなられた」 (二コリント8・ り)。私たちも、い人々と分かち合う。 必要のあることを感じるでしょう。

 を持つことができるよう、イエスに お願いすることができるのです。

「皆が、現代の人々、特に弱い人たちの窮乏、痛みや苦しみを感じ取るため」[7] です。

マリアはいつも、ご自分のことを、 神の御前では貧者に過ぎなのみをしている。 ですったののでするののでででででででである。 の豊からのでするのでであるでででありのでである。 もしているできない。 もしているでものができるができるが、 はいせているでもしているのでででででである。 はないででもいるできるができるが、 はいしましたが、 はいしまします。 はいしまします。 はいしまします。 はいしまします。 はいしまします。

[1] フランシスコ、一般謁見演説、 2016年5月18日。

[2] 聖ホセマリア、『拓』827番。

- [3] フランシスコ、一般謁見演説、 2016年5月18日。
- [4] 『神の朋友』314番。
- [<u>5</u>] フェルナンド・オカリス、2019 年11月1日司牧書簡、10番。
- [6] 聖ホセマリア、手紙24、23番。
- [7] フェルナンド・オカリス、2017 年2月14日司牧書簡、31番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/mokusou-nenkann-26shujitu-c/(2025/11/21)